

奥出雲町立馬木小学校

令和6年度 グランドデザイン

有終の美を飾る一年に

感謝を伝える一年に

新たな出発のための一年に

目指す学校像：元氣と笑顔があふれる学校

しまね教育魅力化ビジョン 育成したい人間像

- ◇自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人
- ◇人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人
- ◇自然や文化を愛し、自他を共に大切にできる優しく強い人



目指す子ども像

- よく考え、豊かに表現する子（創造的知性）
- 心豊かで思いやりのある子（豊かな心情）
- 最後までねばり強くやり抜く子（強い意志）
- 健康と体力作りに取り組む子（健やかな体）

奥出雲町の教育

奥出雲町への愛着と誇りをもち、自らとふるさとの未来を切り拓こうとする子ども

- ◇いつでもどこでもだれにでも 奥出雲町のよさが語れる子
- ◇いつでもどこでもだれとでも かかわり合って成長する子
- ◇いつでもどこでも何にでも 意欲をもって取り組む子

【馬木小学校の教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな心をもち、たくましく生きる

馬木の子の育成

幼・小・中連携

横田中校区の教育を語る会

- ◇学力向上部
 - 重点「読解力・書く力」
- ◇生活部
 - 家庭学習の習慣化
- ◇生活習慣部
 - 基本的生活習慣の改善
 - 生活リズムの向上



学校経営目標と5つの基盤

少人数の良さを生かし、個がたくましく育つ～笑顔あふれる幸せな学校～

- 1 全ての教職員で全ての児童の指導にあたる。
- 2 馬木の環境や条件を活かし、特色のある教育活動を行う。
- 3 子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくる。
- 4 協働する中で互いに力を高め合う教職員集団を組織する。
- 5 教職員一人一人の力を存分に発揮できる職場環境をつくる。

地域連携

地域をつなぐふるさと学習

- ◇マキ田くん：仁多米栽培
- ◇想画教育：青木寛三郎
- ◇まきを描く会
- ◇砂田川、またたんけん
- ◇小森神楽
- 150周年記念・閉校式典（令和7年3月23日）
- 馬木公民館、健康クラブ、神楽保存会、婦人会、振興会

まなびの保障

「授業で子どもを育てる」指導から支援へ

- ◇思いや考えを表現する活動を積極的に取り入れ、学び合う楽しさを味わえる授業づくりを目指す。
- ◇児童が自分に合った学び方を改善していけるよう情報活用能力等の育成を図る。
- ◇読書活動や読書環境の整備を行い、図書館活用教育の充実を図る。



こころの保障

「子どもと子どもをつなぐ」多様性を学び、社会性を育む

- ◇日々の授業を通して、自己肯定感、自己決定の力、他者に共感する力が高まることを目指す。
- ◇話し合い活動を充実させ、子ども発のアイデアを実現させる。
- ◇互いの絆が深まる児童会活動や縦割り班活動、集会活動を展開していく。
- ◇多様性と個性を尊重し相互理解に基づく温かい人間関係づくりに努める。

学校が楽しい
挨拶返事ができる

90%

人権・同和教育の充実

- ・ 人権感覚の育成と馬木小人権宣言の活用
- ・ いじめ、不登校の未然防止の取組

授業がよくわかる
考えを表現しよう
としている

90%

いのちの保障

「安心安全な学校」自律的な健康づくりができる子に

- ◇楽しく運動量のある体育学習の工夫と体育的行事の充実を図る。
- ◇中学校区で連携して健康教育・安全教育の充実を図る。（メディアチャレンジ）
- ◇早寝早起き、朝ご飯など子どもの健康的な生活づくりに家庭と連携して取り組む。
- ◇関係機関と連携し防災意識、危機管理意識の向上を図る。

運動が好き
朝食、睡眠が習慣化

90%

特別支援教育の充実

- ・ 授業、環境等のユニバーサルデザイン化
- ・ 個別の教育支援計画、指導計画の作成・活用

教職員の働き方改革

- 1 19時までに退勤する教職員の割合の目標値 80%
- 2 ICT活用による校務の効率化
- 3 会議、研修等の回数の必要最小限及び短時間化
- 4 快適な職場環境の創造（整理・整頓・清掃）

学び続ける教職員集団：授業改善、チーム対応

- 1 授業を大切にする。（開始終了時刻を守る、知的で楽しい授業を創る、ICTを活用した授業、個に応じ選択できる授業）
- 2 子どもを最優先する。（小さな訴えに耳を向ける、子どもの力を信じる、子どもの人権や尊厳を大切にする）
- 3 連携、協働を常とし、組織で対応する。

たくましく
馬木の子